

区老連だより

中央区老連

新春恵方三社詣

令和8年新年を迎え1月12日(月)成人の日に、今年の恵方南南東方向への新春三社初詣を企画し、和歌山県にお詣りに行きました。総勢91名、バス2台で各地域の集合場所を回り、予定通り9時には神戸を出発することができました。

バスに乗り行路について早々、最初にお詣りする

る廣八幡神社での「稲むらの火」と言われる物語のお話がありました。



廣八幡神社

江戸時代末期安政の地震といわれ1日目に東海地震が発生し津波が襲い、翌日夕方更に大きな南海地震が発生。浜口梧陵は昨日以上の大津波が来る予想し、高台へ避難するのにならなくて道が分からなくなっているのを、自分の田で刈り取り天日で乾かすための稲穂を積み上げた「稲むら」全部に火を放ち村人を高台にある廣八幡神社へ導き多くの村人の命を救ったそうです。

世界でも通じる日本語として有名な「つなみ」は、この事実を基に、NHK朝ドラで有名な小泉八雲が英文で小説を書き、津波を英訳せず「tsunami」と書いて世界に発信したからだとも話されています。

廣八幡神社は日本遺産にも登録されており、それらの話を聞いて一段と興味が増し、更には厳かな気持ちでお詣りすることができ、境内にはその浜口梧陵を顕彰する勝海舟の文章を刻んだ碑も見学でき、なかなか見どころの多い神社でもありました。

次は有田川畔の「鮎茶屋」で昼食会となり、鍋、お正月らしく黒豆等の料理を前にあちらこちらの

兵庫区老連

市老連・会員増強対策「6つの目標」兵庫区老連も取り組み共有化!

令和7年7月8日(火)9日(水)、滋賀県雄琴温泉琵琶湖グラウンドホテルにて兵庫区老連単体クラブの会長、副会長研修会を行いました(参加者33名)。参加者は課題に少し



ワークショップ形式で会議開始

気の中、バスは順調に予定通り目的地に到着しました。休む事なく研修会場に移動し、会議方法はワークショップ形式で3グループに分かれディスカッション



付箋をつかってアイデアを整理

- ① 解散クラブ「0」をめざそう。
- ② 会員減少が続くクラブは、まず減少傾向に歯止めをかけよう。
- ③ 年間1クラブ2〜3名の増をめざそう。
- ④ マン・ツー・マンで会員増強をめざそう。
- ⑤ 新規クラブをつくろう。
- ⑥ 自治会などの地域団体との連携をはかろう。
- を共有のもと各グループそれぞれに意見、アイデアを出し合いグループごとに発表していただきました。
- 発表内容に多くの共通課題を認識すると共に仲間意識も深まり「6つの目

標」への取り組みを共有できた有意義な研修会となりました。なお参加できなかったクラブについては8月18日(月)の会長会で研修会での意見、アイデアの報告を行いました。各クラブと共に将来に繋がる機会となり、今後の活動にしっかりと活かしていきたいと思っております。



グループごとに成果を発表

西区老連

令和7年秋季研修 親睦旅行

令和7年11月25日(火)、朝から小雨が降るあいにくの天気の中、大型バス6台で滋賀県湖南三山の「長寿寺」と彦根名勝「玄宮園」に参りました。

長寿寺境内ではちょうど紅葉の季節で、山門から色づいた木々のトンネルの下を散策しながら本堂でお参りをしました。

残念なことに傘を使っている歩きですので、写真撮影が難しかったです。ご本尊



国宝 長寿寺



国宝 彦根城

は子安地藏菩薩。子宝・安産・長寿にご利益があるそうです。皆さん長生きできるようにお参りをしました。

昼食は彦根のいけす活魚料理で、部屋は少し狭く、テーブル・イスの席でよかったです。一人前の料理がどこからどこまで、自分の分かわかりづらいほど品数が多かったです。少しビールをいただきながらの完食で、料理は美味しかったです。

食事の間に雨も上がり晴



國懸神宮

「竈山(かまやま)神社」、紀伊国一之宮で格式高い神宮号の付く「日前(ひのくま)・國懸(くにかかす)神宮」を詣でてこの一年の無事を願い、心新たに清々しい気持ちでお詣りができました。

この日は少し寒波が来るといって天気予想でしたが一日中快晴に恵まれ、「三社詣で」「お土産詣で」と楽しみ多い新春初詣でできました。復路も余裕ある時間帯の行程で、

今回の旅行も怪我もなく、和気あいあいと過ごし、無事に西区に帰ってこられました。これも参加された皆様のご協力があったからこそです。ご協力ありがとうございました。

れてきました。次に彦根城の名勝・玄宮園では、彦根藩4代藩主、井伊直興により建立された玄宮楽々園を散策しました。お城には入りませんが、池の造りとか、植木の配置、石垣の造りなど、昔の人は重機もなく、どうやって仕事をしていたのか考えさせられました。



玄宮園



全員無事神戸に帰着できました。